

巻頭言

高等教育をとりまく環境は日々変化し、大学はその普遍的な使命を果たすために、時代や社会の要請を踏まえた環境への適応を必要としている。加えて、時代や社会の変貌はしばしば大学に新たな使命を付け加える。

変動社会の中で大学が進路選択を行うためには、IR (Institutional Research) が必要である。IR とは組織の使命を達成するために、組織体制、学生の状況、教育、研究、国際交流、施設、環境、広報、財務、自己点検など広範囲にわたって、データに基づいた現状と成果の分析を行い、組織の内部に対しては改善や意思決定のための将来予測や問題提起を行い、社会に向けては説明責任を果たすべく積極的に情報を公表していく活動の総体を指す。

お茶の水女子大学教育機構は、全学教育システム改革推進本部や附属学校本部と密接に連携しつつ、教育面での IR 活動に基づいて、教育・学生支援の点検と改革に取り組んでいる。教育面での IR 活動には、差し迫った課題に関する調査研究だけでなく、中長期的な大学の進路選択に資する研究活動をも含んでいる。

お茶の水女子大学教育機構の IR 活動の成果を学内外に発信する媒体として、『高等教育と学生支援 —お茶の水女子大学教育機構紀要—』を発刊している。当面は、ホームページ上での電子媒体と、印刷媒体による発刊を行う。学内のみならず大学間が連携した教育改革にも資すれば幸いである。

平成 25 年 3 月吉日
お茶の水女子大学教育機構長
理事・副学長 耳塚 寛明